

ディスクを 4~5秒処理するのみ 楽器本来の質感が 克明に見える

text by
岩井 喬
Takashi Iwai

CDを始めとするディスクに対して、消磁を行ったり、マイナスイオン発生器を用いて高音質化対策を施す機器はこれまでいくつも発表され、その効果も実証されてきた。本製品もそうした、ディスクに事前処理を行う装置であるが、昨今注目されている量子論、場の論理の応用によって開発された技術を用いている製品だ。

研究機関であるEuphoriaTechnologyで開発された技術成果をAERがディスク・エナジャイザーとして製品化。具体的にはマイクロ・フェーズ・アライメントという陽子振動方向の調整を行うことで音場空間におけるエネルギーロスが減少し、音の分解能が全帯域で向上するというもの。ワンチップのカスタムマイコンを内蔵し、スイッチを押すと数秒間センターポール部から光子が放出される。処理作業はこれだけであるが、恒久的な効果ではなく、約2時間ほど、処理状態が維持されるとのこと。人体には全く悪影響のないものであるが、一度処理を行うだけで十分な効果が得られる。また本製品の半径約1mの範囲にあるものは効果の対象となるので、オーディオ機器などの側で使う際は注意したい。

処理を行ったディスクを試聴すると静寂感が増し、楽器の音色が生き生きとしたものになる。ボーカルやギターなどクッキリ浮かび上がり、細やかなディテールもはっきりと出てくるようになる。中低域がソリッドにまとまり、音場が整理されて見通しが良くなる印象だ。付帯音の要因となるノイズ感がなくなり、高域にかけてすっきりと滑らかでヌケの良いサウンドになる。オーディオ機器に対して処理を行った場合も全体的に同様の変化が起き、楽器本来の質感が克明に見えてくる。4、5秒だけの処理なので集中力も途切れず、どれだけ変化が起こるのかもすぐに分かる点も本製品のメリットだろう。



AER
DISC ENERGIZER
¥49,350

- 処理時間:約5秒間 ●効果の持続時間:約80分程度 ●単四電池駆動
- 取り扱い:TRN